



## スペイン語へのいざない

(2004年3月東京大学新聞に掲載されたものです)

上田博人 (スペイン語部会／スペイン・ラテンアメリカ言語学)

新入生のための初修外国語案内

スペイン語 特徴と魅力. スペイン語(español 「エスパニョール」)は、ラテン語がイベリア半島に伝わって以来、ゲルマン語やアラビア語の影響を受けながら十五世紀まで発展を遂げ、さらに大航海時代から世界中に普及し、現在では英語、中国語に続く使用人口を擁する大言語となりました。わかりやすい発音と規則的な文法、そして英語と共通する語が多いことが特徴です。二十カ国に及ぶスペイン語圏の国々の生活や文化は日本とは対極点にあるといってもよいほど異なるので、私たちを惹きつける強烈な魅力があります。

研究分野. この魅力に取り憑かれた人々は「生涯を賭ける」意気込みで、文学、歴史学、人類学、政治学、言語学、...といった多くの分野でスペイン語が話される地域と関わり続けています。研究への情熱が高じると彼らの「ノリ」は加速し、先日も真面目な研究会が途中で一転してラテン・ルンバの講習会になったのには驚きました。実際、教師・研究者は文献を読み、調査し、専門の論文を書きっぱかりいるのではなく、多芸でおもしろい人がたくさんいます。

スペイン語を学ぶと得すること. これは数え上げたらきりがありませんが、とにかく新しい言語を学ぶことで目の前に新しい地平線が広がります。スペイン語は私たちの期待をけっして裏切りません。

展望. 昨年からはスペイン語部会はホームページを立ち上げ、学生と教師のコミュニケーションの場としています。これから様々な情報をたくさん提供し、私たちの思いを皆さんに伝えたいと思います。

<http://spanish.ecc.u-tokyo.ac.jp>

